

平成29年3月14日

## 平成28年度「石川デザイン賞」の受賞者決定及び表彰式の開催について

石川県では、県民に対するデザインの重要性を広くアピールするとともに、企業、団体へのデザイン導入の促進を図るため、デザイン振興に大きく貢献した個人、団体、企業を表彰する「石川デザイン賞」を公益財団法人石川県デザインセンターと共同で、平成11年度から実施しております。

平成28年度の「石川デザイン賞」につきまして、去る2月13日(月)に開催された「石川デザイン賞選考委員会」(委員長：大場 吉美(公財)石川県デザインセンター副理事長)の最終選考委員会において、別紙のとおり、3者を決定いたしました。

つきましては、表彰式を下記の日程で実施しますので、ご案内いたします。

### 記

#### 1. 日 時

平成29年3月15日(水) 16:00~16:30

#### 2. 場 所

石川県庁 行政庁舎4階 特別会議室

#### 3. 次 第

(1) 表彰：表彰状授与 谷本 正憲 石川県知事  
副賞授与 中島 秀雄 (公財)石川県デザインセンター理事長

(2) お祝いの言葉 谷本 正憲 石川県知事

(3) お礼の言葉 各受賞者

(4) 記念撮影

(5) 各受賞者の活動紹介

《本件に関するお問い合わせは下記担当者までお願い致します》

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地

(公財)石川県デザインセンター

担当：志甫(しほ)、山本(やまもと)

電話：076-267-0365

# ISHIKAWA DESIGN AWARD

## 平成28年度 石川デザイン賞

# 2016

平成28年度

### 石川デザイン賞 表彰実施要領

#### ■目的

石川県内のデザイン振興に大きく貢献した個人、団体、企業を評価、表彰することにより、県民へデザインの重要性を広くアピールするとともに、企業、団体へのデザイン導入の促進を図ることを目的とする。

#### ■表彰対象

これまで石川県のデザインの向上、普及に著しく貢献している個人及び企業、団体を対象とする。

#### ■表彰対象者の選考

- ①デザイン関係団体等の代表で構成する「石川デザイン賞選考委員会」において選考し、決定する。
- ②選考にあたっては、
  - ・デザイン界において顕著な活動を実践したもの
  - ・社会、教育に対してデザインのより一層の振興を図ったもの
  - ・デザインに対して深い理解を示し、商品開発や販売促進、さらには地域・社会・環境等の課題解決にデザインを効果的に活用したものなどの観点から審査する。

#### ■表彰

石川デザイン賞 3件以内 ※賞状と副賞を授与する。  
表彰は、石川県知事と公益財団法人石川県デザインセンター理事長の連名による。

#### ■石川デザイン賞選考委員名簿

委員長	大場吉美	(公財)石川県デザインセンター副理事長
副委員長	村中 稔	金沢美術工芸大学教授
委員	石山裕二	石川県商工労働部産業政策課長
〃	宇枝敏夫	(一社)石川県建築士事務所協会理事
〃	江口弘泰	金沢市経済局営業戦略部長
〃	亀田重太郎	石川県インテリアデザイン協会理事長
〃	川本敦久	金沢卯辰山工芸工房館長
〃	沢野井康成	石川県工業試験場繊維生活部長
〃	中村 功	石川県クラフトデザイン協会理事長
〃	林 健治	金沢商工会議所常務理事
〃	水野一郎	建築家・金沢工業大学教育支援機構顧問
〃	山本洋志	石川県プロダクトデザイン協会会長
〃	吉田 繁	(一社)石川県繊維協会専務理事

#### 公益財団法人 石川県デザインセンター

石川県金沢市鞍月2丁目20番地 (〒920-8203)  
石川県地場産業振興センター新館4階  
TEL 076-267-0365 FAX 076-267-5242  
ホームページ <http://www.design-ishikawa.jp>



デザインのカ。  
人を動かし、  
時代を創る。

# 2016

## ISHIKAWA DESIGN AWARD

### ◎受賞者・企業の紹介



たにしげ よしゆき  
**谷重義行**  
谷重義行建築像景代表



**株式会社 石黒商店**  
代表取締役 石黒太郎



**カジグループ**  
代表取締役社長 梶 政隆

#### 受賞理由

個人住宅、公共施設、商業施設など幅広く手がけ、人にやさしい空間づくりや質の高いデザインにより、建築関係の賞を多数受賞している。クライアントに寄り添った丁寧な仕事や建築材料の“地産地消”、茅葺き文化の保存・継承にも力を入れて取り組んでいる。

「建築物は人に安らぎを与えなければならない」とのポリシーをもつ谷重氏は、クライアントと打ち合わせを重ねながら、建物の用途に応じた安らぎの理想の形を追求します。このため、使い勝手や機能性、耐久性とともに、人間の五感で空間を捉える上で、においや肌触りなども重視します。

例えば、柱・梁の構造材はもちろんのこと、床材や造作材にも意識して石川産のスギやアテを多く用いるのは、「見た目や肌触りの温かさ、調湿機能とともに、室内に流れる木の香りが人をリラックスさせるから」。県産材の消費拡大の思いに加えて、「木材の良しあしの分かる職人の減少を危惧するから」とも言います。能登の珪藻土や和紙を多く用いるのも、同様の理由からです。

同時に、建物単体でなく、周囲の環境や景観との調和を図るトータルな設計・デザインを大切にしています。それは、新しい建築物が生まれることで、その地域の魅力が増し、まちへの愛着を高める力を建築物がもつもの考えに基づきます。

このように、地域の環境への配慮や自然の建築素材を多用して建物の質を高めていく谷重さんの作品は、国内外から高い評価を得ています。七尾市の本宮保育園は石川県デザイン展知事賞(2011年)、日本建築事務所協会連合会建築賞会長賞(12年)を受賞。さらに15年には世界最大の住宅デザイン・設計プラットフォームをアメリカで運営する Houzz 社主催の「ベスト・オブ・ハウス2016デザイン賞」に輝いています。

また、石川県茅葺き文化研究会専務理事を務め、茅葺き家屋の調査や金沢市の山間地でのカヤ場再生、茅葺きで制作したバス停や小学校での体験授業などにも精力的に取り組んでいます。



自然乾燥させた県産材を内外にふんだんに使った囲舎。内部と軒下に大きく取った土間が囲庭へとつながり、天候にかかわらず園児が遊べる本宮保育園

#### DATA

1958年、広島県生まれ、広島工業大学卒、広島大学大学院修了。東京の建築設計事務所勤務、国立石川高専講師、ケニア共和国ジョモ・ケニアツタ農工大学講師を経て、2001年独立。石川県建築士事務所協会員、金沢工業大学非常勤講師

#### 受賞理由

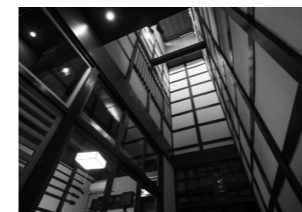
古美術という格式と伝統の世界に新たな感性を吹き込むデザインを取り入れ、多くの人に日常的に骨董を楽しんでもらう場を創出している。また、セミナーの開催や加賀蒔絵を紹介する冊子の発行など、石川の工芸文化や生活文化の普及と啓蒙にも努めている。

1904年創業の石黒商店は、東京、京都、大阪、名古屋とともに古美術が盛んな金沢でも指折りの老舗で、石黒氏の祖父にあたる2代目が加賀藩主だった前田家から嘱託を受けるなど、信用と扱う品の確かさで知られます。店舗兼自宅は金沢美術倶楽部や近江町市場の近くにあり、2013年に行ったリノベーションで昭和初期に建てられた黒瓦と紅殻格子の落ち着いた風情をよみがえらせています。

このリノベーションにあたってデザイナーなど複数のクリエイターが参画し、デザインを活用したCI戦略や情報発信も手がけました。「ものすごく古くて、ありえないほど新しい」をテーマに、店舗には新たなショーウィンドウやディスプレイなどを設置。商品構成の幅も広げ、若手作家のクラフトやアクセサリー、文具など求めやすい価格のものも並びます。

西洋アンティークと東洋の骨董を取り合わせた生活空間への提案や、店舗奥の座敷を活用した茶会やセミナーの開催、加賀蒔絵の美を紹介する冊子も発行しました。また、「骨董セレクトショップ」をイメージしたロゴマークを、サインや印刷物、HPなどに展開。これらの取り組みが功を奏し、これまで月に数人だった来店客が、今では古美術に縁遠かった市民や観光客まで訪れるようになっていきます。

最近では、東京や大阪で開かれるアートフェアに出展し、石川の工芸文化の発信にも努めています。石黒氏は、「金沢の古美術の奥深さに気軽にふれてもらうことが、業界全体の振興にもつながる」と手応えを感じ取っています。



金澤町家の雰囲気をよく残し、リノベーションされた店舗の内観(左)。ロゴマークを展開したおしゃれな案内リーフやしおりなども好評(右)

#### DATA

- 代表者 石黒太郎
- 所在地 金沢市十間町53
- 創業 1904年
- 設立 1953年
- 従業員 4名
- 主な業務 書画骨董、茶道具、漆芸、アンティークなどの販売、買取

#### 受賞理由

CIや製品の企画・開発にデザイン力を積極的に活用し、全国規模で自社ブランドを展開している。また、繊維産地としての石川県の総合力をアピールするため、「メイドイン石川」をコンセプトにした商品開発を推進し、業界で先導的な役割を果たしている。

カジグループは糸加工、織・編物、縫製、機械製造を行う5社で構成し、自慢の高密度生地地のナイロンは世界のアウトドアブランドに採用され、高い評価を得ています。長く繊維産業の“川上”を担ってきたわけですが、2014年の創業80周年を機に、“川下”までを視野に入れた自社ブランドの開発と販売に乗り出しました。

梶氏は「北陸は世界に誇る合繊長繊維産地だが、知名度は驚くほど低い。エンドユーザーに直接アピールすることで、自社はもとより産地の活性化にもつなげたい」と語ります。

開発にあたりコンサルティングを依頼したのが、生活雑貨を全国展開し、ものづくり企業の開発支援も行う中川淳・中川政七商店社長です。中川氏から「くまモン」で知られるクリエイティブディレクター・水野学氏の紹介も受けて、プロジェクトがスタートしました。

その成果が結実したのが、トラベルギアブランド『トゥー&フロア』とメンズファッションブランド『ティモネ』です。同グループが得意とする糸加工や仮燃し加工などの高い技術と、生地機能性と魅力を引き出すデザイナーとのコラボレーションにより生まれた商品は、現在、120店を超える全国のセレクトショップや中川政七商店の直営店で販売され、好調な売れ行きをみせます。

染色や縫製は外注ですが、提携先はすべて県内や北陸の企業。「オール石川」「オール北陸」へのこだわりは、最終製品まで一貫してつくる底力が産地にあることを発信するため、梶氏は「デザインが経営資源の中でますます重要になる」と話します。



2016年10月、羽田空港国内線ターミナルビルにオープンした直営店『トゥー&フロア』(上)。2016年の奈良県大芸術祭で、オール石川の繊維技術を駆使し書家・紫舟さんとのコラボで完成させた作品「何と無」(10m×15m)(左)

Photo by Tadahiko NAGATA

#### DATA

- 代表者 梶 政隆
- 所在地 金沢市梅田町148
- 創業 1934年
- 設立 1951年
- 従業員 426名
- グループ企業 カジナイロン株式会社  
カジレーネ株式会社  
カジニット株式会社  
カジソウイング株式会社  
株式会社 梶製作所
- 主な業務 糸加工、織物製造、ニット製造、縫製、機械製造

### ◎ご挨拶

デザインは、時代を切り開く新しい価値創造のプロセスとして、商品開発や広告のもとより、Webデザイン、CI、都市景観、イベント、地域活性化など多様な分野で、その力を発揮しています。

ますます創造性が必要とされる今日において、より一層社会に対して、デザインの浸透を図っていくことが重要であると考えます。

石川デザイン賞は、こうしたデザインの役割を広く県民各層にご理解いただくために、デザインの普及・発展やデザイン業界の活性化に著しく貢献した個人及び企業、団体を顕彰するものです。

選考に関しては、デザインに対する理解の深さ、リーダーシップ、社会への貢献度、商品開発や販売促進においてデザインを効果的に活用したもの、そしてデザイン業界において顕著な活動をしたものを対象にしています。

平成28年度は、次の3件が受賞しました。ご一読いただければ幸いです。

公益財団法人 石川県デザインセンター

理事長 **中島秀雄**